ミストラ遺跡

ギリシャ・クラッシクの後、ローマを経て、長くビザンチン帝国／ギリシャ正教の国であり、今もギリシャ正教の国。
従って、キリスト教により異教のギリシャ文化は消され、我々が見ているものは、遺跡として発掘された遺物である。ギリシャ正教は、より本来の一神教に近いので、イタリア／カソリックの様なマリア信仰もないし、偶像崇拝禁止が徹底しており、キリスト像もなく、フレスコ画とイコンのみである。
ミストラは、そのビザンチン時代の遺跡。（←）
気がつくのは、ギリシャ・クラッシク時代の様な大理石の建物ではなく、石と土を混ぜた泥壁。これが中世の建物。

それにアーチ型の模様。（←）
スペインで見たように、アラビア／イスラムの影響をビザンチンは強く受けているように見える。

内部は、壁一面にフレスコ画が描かれている。（→）

メテオラ

この奇怪な岩山の上に、近づくのも容易でない岩の頂上に孤立する形で、多数の修道院が形成されている。